

アーカイブ Data Report

NO. 71
(2021年1月30日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル5F
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会
(* 岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

GIGA スクール構想の資源としてのデジタルアーカイブ

加治工 尚子、櫛 彩見、眞喜志 悦子(岐阜女子大学)

1. 「GIGA スクール構想」を構想で終わらせないために

GIGA スクール構想では、1人1台の情報端末と高速通信網の整備により、多様なリソースの学びへの活用イメージが描かれている。これらを構想で終わらせないためには、学習環境の内容的な整備が課題である。とくに、学びに適する多様なリソースが整備され、それらを活用した学習指導、学習支援の方法を工夫する必要がある。また、これまでの教室内、学校内といった場の枠を超えた交流や学習を可能にするような学びを提供するべきである。

2. GIGA スクールの資源としてのデジタルアーカイブ

GIGA スクールのリソースは、幼稚園、小学校等では発達段階に応じたデジタルアーカイブが地域の各機関、学校等のデジタルアーカイブから再構成し、利用できるようにする。また、中学校、高等学校では一般のデジタルアーカイブを利用する。このためには、各学校の教員等で教育リソース管理者等を置く必要がある。

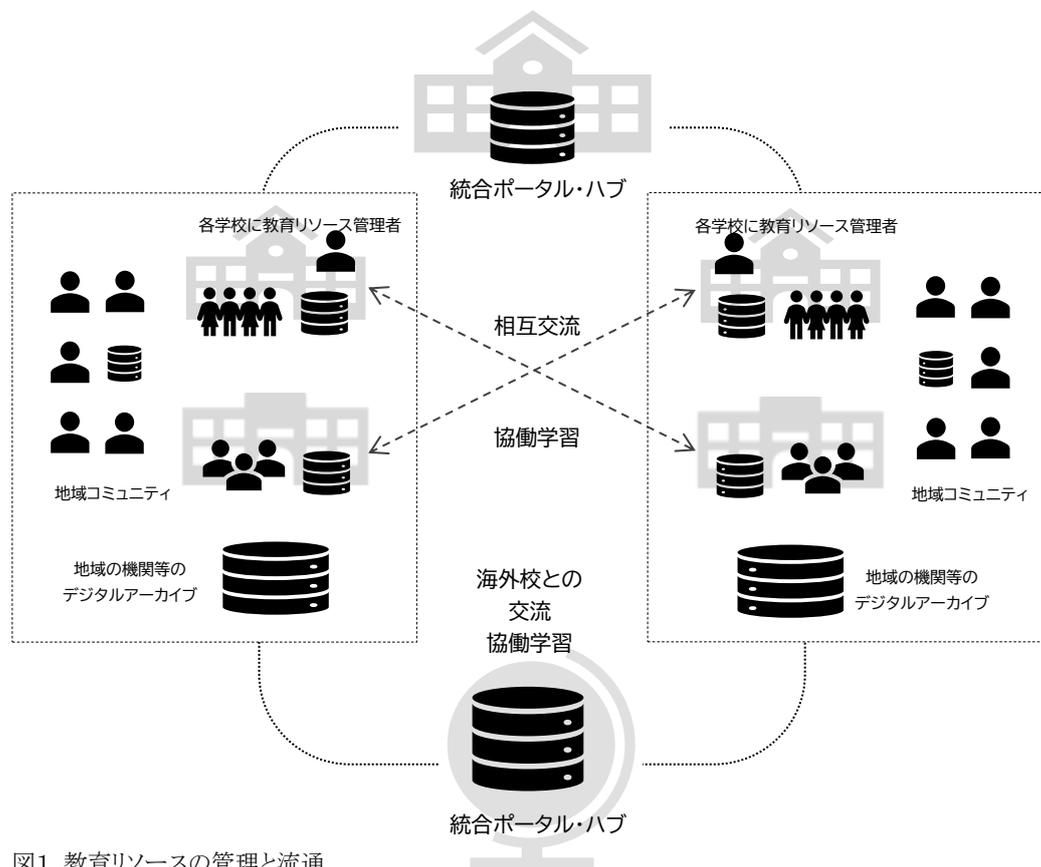


図1 教育リソースの管理と流通

(1) 学習者の発達に適したコンテンツ（リソース）が活用できる

小学校では、発達段階に応じて活用できるリソースを学校、教育委員会、教育センター、教育機関で用意する必要がある。とくに、地域資料、教材等については、小学校単位での整備が求められる。

また、教科等の関係でコンテンツの整備が必要となる。これらの資源は、地域のコミュニティ、学校（大学含む）機関、企業等への調整や許可を得て整備すべきである。たとえば、社会化等では身近な地域の学習から、視野を県内、国内、海外へと広げる学びが展開される。これらに対応する資源として、地域、機関、ハブ、統合ポータル（国内外）のコンテンツ活用が考えられるが、デジタルアーカイブの整備が不十分な状況があり、課題となっている。

(2) 各コンテンツの権利等の処理

各機関、ハブ等のコンテンツを教育リソースとして利用するにあたっては、著作権、プライバシー、所有権等の諸権利について利用の適否を判断し、整備する必要がある。

(3) 学習者の情報活用能力の発達に対応したコンテンツ、メタデータの整備

児童の情報活用能力の発達段階に応じて、コンテンツ内容の案内情報としてのメタデータを充実させるべきである。

(4) 教育リソース管理者（資格）の必要性

教育情報の活用能力やコンテンツの権利処理（著作権、プライバシー等の取り扱い）の知識・技能を有し、指導・助言等が行える人材（教員）が求められる。各学年に1名は準デジタル・アーキビスト程度、学校に1名はデジタル・アーキビスト程度の能力を有する人材が必要である。

3. 活用の方法 ～クラス、地域の学校間、国内外の遠隔地と結んだ協働学習～

教育リソースの活用については、つぎのような協働学習の取り組みが考えられる。

- ① 学校、教室（クラス）内での活用
- ② 地域の学校間の協働学習
- ③ 国内の学校間の協働学習
- ④ 海外の学校との協働学習

①では、課題解決型の協働学習への利用が期待される。また、②、③、④では、学校間の交流や協働学習も想定されており、これらの活動の基礎資料として、地域資料デジタルアーカイブの利用のほか、学習者の発達段階に応じた教育リソースの開発や利用が考えられる。

教育リソースの公開・提供に際しては、可能な限り二次利用可能な形が望ましい。その実現と活用促進のためには、情報通信基盤の整備に加え、デジタルアーカイブに関する知識・技能を備えた人材の配置が課題である。